

令和5年10月30日
横浜信用金庫

神奈川県が発行するグリーンボンドへの投資について

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）は、神奈川県が発行するグリーンボンド（神奈川県第4回5年公募公債（グリーンボンド）、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、環境改善効果を有するグリーンプロジェクトに調達資金の充当先を限定して発行される債券です。本債券のフレームワークは、令和5年9月に旧フレームワークを改定し、国際資本市場協会（International Capital Market Association : ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン（2022版）」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）から確認を受け、セカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。

同県では、令和2年2月に、気候変動による豪雨や台風等による水災害への対策として「神奈川県水防災戦略」を策定し、同年9月に戦略の推進に向けて、グリーンボンドフレームワークを策定しました。令和5年3月には、戦略策定以降の環境変化（災害の激甚化、盛土規制法、新型コロナ、デジタル化等の災害対応の高度化等）を踏まえ、更なる対策強化のため、神奈川県水防災戦略を改定したことに伴い、フレームワークも改定し、充当事業を拡充しています。本債券の発行による調達資金は、神奈川県水防災戦略に関する以下の事業資金として充当される予定です。

分類	事業内容
河川（洪水）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備 ▶ 河川の防災対策の充実・強化
土石流・地すべり等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 土砂災害防止施設の整備 ▶ 治山施設の整備・強靱化
高潮・高波	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 海岸保全施設等の整備 ▶ 漁港施設等の防災機能の強化
都市インフラ（交通）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路の防災対策の充実・強化 ・道路トンネル照明灯のLED化、電線地中化

当金庫は、本債券をはじめとしたSDGs債への継続的なESG投資を通じて、今後も社会的責任を果たしてまいります。

<本債券の概要>

銘柄	神奈川県第4回5年公募公債（グリーンボンド）
年限	5年
発行総額	100億円
利率	0.438%

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

== お問い合わせ先：市場国際部 担当 白城（電話：045-662-1302） ==



横浜信用金庫